

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民芸術劇場事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	恩田 一成			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	優れた舞台芸術の鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興を図る。
事業内容	・市民団体と市教育委員会で組織された実行委員会で、コンサート等を実施し、市民に低廉な価格で舞台芸術を鑑賞していただく。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和61年からスタートし、これまで様々な催しを開催している。 ・本事業は平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	入場者数	1,215	750	722	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成29年度はチケット購入者のうち94%の来場者を得た。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,512,000	4,246,000	4,184,800
事業費(b)(円)	1,500,000	1,500,000	1,500,000
うち一般財源	1,500,000	1,500,000	1,500,000
職員給与費(c)(円)	3,012,000	2,746,000	2,684,800
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	男声・女性コーラスグループを企画・開催した。	③取組の課題	幅広い層が来場できる演目となるよう、企画段階で検討する。
②今年度(H29)に実施した取組	実行委員会形式をとり、市内事業所や公共施設の協力を得て企画実行した。また、チケットの販売促進のため、引き続きインターネット販売を継続した。	④今後(H30以降)の改善計画	薫り高い文化の醸成にふさわしい企画の立案と、PR方法の検討。